

十四日同所ヲ通過シタル露國汽船「ピータルスホルグ」
 號ニ救助セラル美由ニ当港駐劄露國領事
 右漂民韓國へ引渡方依頼シ来リ美付内
 務大臣ニ伺出美心漂民取扱手續ニ準シ取計
 ハキ旨指令相成美付去六日右漂民本廳ニ
 引渡上露國領事ト協議上同國政府
 ノ費用ヲ以テ翌七日出帆ノ露國汽船「バイカ
 ル」號ニシテ本國へ送還美事ニ相定メ且露國
 領事ノ依頼ニ依リ在釜山帝國領事ニ宛テ
 右漂民ヲ韓國政府へ引渡方可取計旨ノ
 書面ヲ作り「バイカル」號船長ニ托シテ在釜山
 領事ニ送付ノ為メ當廳ヨリ露國領事へ送
 致致美条此段及所報告候也

迄テ漂民當廳引渡後「バイカル」號へ引渡
 途ニ要シタル費用ハ日本政府ニテ負担スルキ
 モトト思考致美条此段及所報告申添美
 明治三十一年五月十六日

長崎縣知事 小杉原英太郎



外務大臣 男爵西德二郎殿